

## 「屁の河童(へのかっぱ)」の語源

「屁の河童」の意味は、  
非常に些細で取るに足りないこと。簡単にこなせるとの意味ですね。

その語源には、二つの説があります。

### 1. 「木っ端(こっぱ)の火」説 (有力な説です)

「木っ端」は薪(まき)の切れ端や焚きつけのことで、すぐに燃え尽きて火力が弱いため、「あっけないこと」「たわいのないこと」の例えとして「木っ端の火」が使われていました。

これが転じて「こっぱのへ」となり、その語呂から「かっぱのへ(河童の屁)」となり、江戸っ子の反転言葉遊びで「屁の河童」に反転したとされる説。

### 2. 「河童の屁」説 (言葉から後付的に創ったのではと言われる説)

想像上の生き物である河童が水中で屁をしても、泡が少し出るだけで全く勢いがないことから、頼りないこと、取るに足りないことを指すことからという説。

(参考)

\* 類語: 「朝飯前」、「お茶の子さいさい」、「赤子の手をひねる」、「へっちゃら」。